



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

【令和5年度学校教育目標】

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

【内容ダイジェスト】

知恵を出し合うしかない、協働するしかない。

- ・2学期も、なにとぞ、よろしくお願いいたします。
- ・新たな問題・課題は山積。しかし、頭を抱えるのではなく、目を逸らすのでもなく、知恵を出し合いましょう。協働しましょう。
- ・子ども達自身が、自ら考え、行動し出すために、大人に求められること。

子育ての“山あり谷あり”

- ・“ひっきゃで子育て”を原点に。

2学期も、なにとぞ、よろしくお願いいたします。 ～知恵を出し合い、協働していきましょう。～

学校でも、社会でも、それぞれの生活の中でも、これまで経験をしていなかったことがいろいろと出てきます。問題・課題にぶつかって、頭を抱えてしまうことも出てきます。一人で考えているだけでは、なかなか先に進みません。堂々巡りになってしまうことも、わたしの場合、よくあります。

下の写真は、授業の様子です。各学級で、工夫しながら、教育活動が展開されております。今ある時間と、今あるもので、まず、精一杯やることが第一だと考えています。ないものねだりをしていても、停滞してしまいます。



2年生では、電子黒板と、自分の体を使って、リズムを取る音楽の授業が行われていました。自分の足のつま先でリズムを取りながら、歌う活動です。電子黒板から音楽が流れ、楽譜での提示もされています。みんなが活動に集中している様子が見られました。



電子黒板やタブレット（一人端末）は、有力な教材・教具となります。使わない手はありません。電子黒板は、すでに、日常的に、なくてはならない教具になっています。タブレットも、学習での“日常使い”に向けて動き出しています。タブレットには、今年度、eライブラリーという学習支援サービスが入りました。小学校1年生から中学3年生までの5教科の教材を収録して学習支援サービスです。一人ひとりに応じたドリル教材や解説教材が子ども達の学習意欲を高め、理解を助けることが期待されます。

しかし、当然のことながら、課題が出てきます。指導する我々教師のスキルアップや、様々な教育活動が行われている中で、タブレットを使う時間がなかなか取れないというようなことです。タブレットの破損や使い方のルール、情報モラル等も課題になります。それが理由で停滞するわけにはいきません。我々教師間の知恵の出し合いや協働が不可欠です。



新型コロナ対策と熱中症対策については、まだ油断ができません。子ども達の安全・安心に関わる重要事項です。できる限りの取組をしておりますが、課題は出てきます。保護者の皆様のご理解とご協力には、感謝しております。今後ともよろしくお願いたします。

学校は、多くの子ども達が一堂に会する場所ですので、人間関係のトラブルや生活面のトラブルも、次々と起こります。もちろん、それは、“絶好の学びの機会”ともなるわけです。しかしながら、共通理解、協働、信頼関係など、土台が揺らいでしまうと、教育活動として成立しなくなります。感情のぶつかり合いになってしまいます。

学校のすべての経験は、子ども達が自分で考え、行動し、自分の生活をよりよいものにしていく“学び”になると考えています。ここで、大人の役目として、漠然としているものを、具体的な目標やめあてとして、続けて取り組むことができるような活動に繋げることだと思います。目立たず地道な“とことんカード”もその一つです。

地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、教育活動を確実に行うことができます。これからも、しっかりと、子ども達の“今”と“未来”をよりよいものにしていくためにがんばっていきますので、よろしくお願いたします。子育ては山あり谷ありますが、同じ苦労と同じ喜びを感じる者同士、知恵を出し合い、“ひっきゃで子育て”でやっていきましょう。